

(様式2)

## 授業改善プラン

地域名	南房総教育事務所	学校名	南房総市立白浜小学校
-----	----------	-----	------------

### 1. 課題（これまでの全国学力・学習状況調査結果から）

- 平成31年度調査において算数では、図形領域では比較的高い数値を出したが、他の多くの項目で県平均・全国平均を下回っている。無解答率も高く、粘り強く課題に取り組む態度を育てていく必要がある。

### 2. 取組のポイント（仮説、改善方法等）

- (1) 学習の問題解決的な学習過程と学習内容の習熟過程に整理し、習熟を図る学習を効果的に取り入れられるよう工夫すれば、児童個々の確かな学びが実現できるだろう。
- (2) ICTを活用することにより、学習過程や習熟過程を個別最適化し、指導の工夫をすれば、児童個々の確かな学びが実現できるだろう。

### 3. 具体的な実践

- 全8クラスで検証授業を実施した。
  - <問題解決学習の実施>  
学習問題は子ども自ら疑問を出させたり、まとめは子どもがその時間に学んだことを自分の言葉で書かせたりした。
  - <習熟の時間の確保>  
教科書問題、ワーク、タブレット学習などを活用し、必ず習熟の時間を確保するように心がけた。
  - <ICTの活用>  
導入や比較検討時など、様々な場面でICTを活用するように心がけた。

### 4. 成果

- ・全校8学級で実践授業を実施したことで、本校の取り組みについて職員が共通理解をしながら、児童の学力向上にあたることができた。
- ・指導案上で問題解決学習と習熟の時間に整理し、意識して取り組んだ結果、習熟の時間の確保につながり、児童が成就感・達成感を味わえる場面が増えた。
- ・ICTをいろいろな場面で、取り入れ方を工夫できることがわかった。

### ◆担当指導主事から（南房総教育事務所 指導主事 上代 博行）

- ICTを積極的に活用しながら、児童が主体的に取り組むことができる課題設定を工夫していた。問題解決の場面で、児童の思考を大切にしながら、自分の考えを決定する場面を設けて表現させるなど児童の学力向上に向けて、職員全体で取り組んでいた。